



# 新生会看護部通信

2011.7.1発行 第31号



## 新人スタッフと患者さんの触れあい

～春の風を感じよう♪～ 【新生会第一病院 病棟 佐々木しのぶ】

毎年、4月に、療養・一般病棟合同で院外活動(レクリエーション)を実施しています。病院北側にある弥富公園へ、お花見見物をするのですが、称して「春の風を感じよう」としています。今年も「新人職員研修」の90分を頂いて実現しています。新人スタッフも患者さんと触れ合えることで学びになり、一挙両得な企画です。



ボランティア  
(名古屋音楽大学学生さん)

気持ちよ  
いわあ～

当日は気温や風の心配や患者さんの体調の心配など、こまごました気苦労がありますが、院内では見たことのない患者さんの笑顔や楽しそうな様子に、新人スタッフも笑顔になり、患者さんと新人スタッフをみていて、励まされます。来年も頑張るぞ♪



入職6ヶ月未満の新卒・既卒Nsの方に、患者さん・先輩Nsとの印象深い出来事を教えてもらいました。

【新生会第一病院 教育センター 門嶋洋子】



### 新卒

批判的な言葉の多い患者に対して、先輩看護師が患者に受容・共感的な関わりを行なう事で、患者から笑顔もみられ冗談も聞かれるようになった。私も患者の思いに傾聴出来る看護師になりたいです

看護師となり2ヶ月がたち、少しずつ手順や仕事の流れを覚えてきました。プリセプターの先輩看護師をはじめ、スタッフのみなさんが1つずつ丁寧に教えて下さるので、毎日が勉強です。ミスをしてしまうことがありますが、1つずつ自分なりの対策を行っていき、少しでも先輩方に近づいていきたいです。

### 既卒

## 新人看護師の声

初めての透析室勤務で仕切りのない広いフロアにベッドと機械が並ぶ環境、「早よせんか！さっさと抜け！」と怒鳴る患者、下ネタの話をする患者、看護師を無視する患者など個性が強すぎる患者に驚きました。

「前に爪切ってもらって上手だったから次から指名するね。」些細な言葉ですが嬉しくてやる気が出ました。

透析は患者さんの生活の一部...まさにその通り。色々な葛藤の末、受け入れ前向きに生きている。先輩方が患者さんと楽しそうに何気ない会話をしている、そんな日常の事が私にとって素敵な看護に思えました。





# 災害看護シリーズV



## 東日本大震災 災害支援ナースの活動報告 【鳴海クリニック 宮島恵】

震災発生から3週間目、4月5日(火)～4月9日(土)まで宮城県石巻市の避難所(中学校)に災害支援ナースとして支援活動をさせて頂きました。市民病院や中核病院の1/3が被害を受け、医療そのものが継続できず、学校の保健室が緊急救護所として使われていました。卒業式を控えていたのか、体育館には紅白の幕が掲げられており、卒業式の看板も準備されていましたが、泥まみれで横倒しになっていました。震災直後には600人前後の被災者が避難されていましたが、この頃には体育館に約300人前後各教室に約60人前後の被災者がいました。



体育館内はダンボールの上に毛布を重ねて敷きパイプ椅子で間仕切りをしてありましたがプライバシーは保たれているとはいえない空間でした。高齢者、寝たきり老夫婦、妊婦、生後2週間目の乳児障害者の方が不自由な避難生活をしていました。このような環境の中で救護施設が設置され日中は日赤医療チームと市民病院の医療チームが常駐し回診や治療が行なわれていました。

災害支援ナースは医療チームと一緒に診療の補助、褥創処置、血圧チェック、内服介助、食欲の状態、排便状況、睡眠状況、清拭、足欲等、看護行為に加え、避難所のトイレ清掃、消毒薬の作成、消毒薬補充、ゴミ収集等を行い、必要時には行政と連絡をとり被災者の避難所移動調整を行っていました。

災害支援ナースは24時間避難所待機になっている為、教室の隅が待機宿泊場所となっており、寝袋持参でした。(右写真)2人～3人の災害支援ナースが各避難所に配置される予定が、シフト調整がうまくいかず、2日目は1人での活動になりました。被災現場では様々な経験が必要とされ状況に応じた判断と行動が求められました。



4月7日(木)は最大余震6強も経験し、あまりの揺れに恐怖で動けなくなり「死」も覚悟しました。災害支援ナース研修会で毎年研修は重ねていましたが、実際に現場で経験ができたこと、何より同じ志を持った仲間とネットワークができたことに感謝します。支援活動を終えて、数日間揺れている錯覚があり、脱力感がありましたが、活動仲間と電話やメールでおしゃべりをし、気持ちも落ち着きました。

支援は始まったばかりです。長期的な支援が必要になります。再度支援要請がくれば又、活動に参加させて頂きたいと思っています。活動に協力してくれた家族、職場の全スタッフに感謝します。有難うございました。



<災害支援ナースの皆さんと>

## いのちのケア -シリーズ1- いやしと元気の出るアイテムを紹介

### ～私の大切な時間～

【十全クリニック 増田めぐみ】



私の心が癒される時は、我が子の顔を見ながら夜布団で寝る時。この瞬間に一日の仕事の疲れ・嫌なことが全部ふっ飛んでリセットされ、また元気を満タンにします。癒しになるはずの子供に振り回されクタクタになるときも、鬼ばばのように怒鳴り散らすときもあるけど、やっぱり子供は私の宝物。子供を産んで、人の命の大切さに改めて気づかされ、人として強くなったと思います。

さあ！明日もがんばろう！これが私の毎日を元気に生きる力になってます。



# 各部署のあるある情報



各部署の自慢できること、部署ならではのルール、伝えたい活動など、他部署に伝えたい情報を紹介

## 鳴海クリニック



各フロアで部署交流会を催して、公私様々な話を通してスタッフ間の連携をはかっています。

石村美由紀

## 新生会第一病院 教育センター



教Cの自慢はおいしいコーヒーです！癒しの空間でリラックスして語り合い、ホッと一息！！

門嶋洋子

## 東海・東海知多クリニック



口腔ケアプロジェクトでは、指導方法や資料を作成し、個別的に患者指導しています。

佐々木三恵

## 新生会第一病院 2F病棟

2階病棟スタッフでヒナ鳥の育活中。患者様も私達も癒され、巣立つのを見守り中です。

伊藤博美



## 新生会第一病院 浄化センター



「う～ん、臨時の人、どこに入れよう？」緊急入院、臨時の対応に、奮闘している一コマです。

久田睦子

## 金山クリニック



症例カンファレンスでは、フロアを超えた意見交換を行い情報の共有化に努めています。

竹之内美幸

## 十全クリニック



1階透析室北側の窓からは、季節を感じることのできる花や木々の景色がみえ、癒されます。

増田めぐみ

## 新生会第一病院 外来

スタッフ全員エコー下PTAの介助を修得

橋本小百合  
佐藤ひとみ

<Dr佐藤によるエコー下PTA>



## 新生会第一病院 3F病棟



3F病棟では、呼吸器を装着したHD患者様がいらっしゃるため、個室にHDのコンソールを設置して、週3回のHDを行っています。

井上矢子



# いきいきナース

旅行を満喫している、勤続34年の村上麻智子さんを紹介します。

(新生会第一病院 浄化センター 久田睦子)

## 旅行記



2010年10月、フィンランドに行ってきました。オーロラが見たくて行ったのですが、ほんの一瞬すこしだけ、「あれかな？」と思うぐらいしか見えませんでした。フィンランドと言えばサンタクロースですよ。サンタクロース村は北極圏の所にあり北極圏を跨ぎ、サンタさんに会ってきました。サンタさんは本当にいるんですよ。サンタさんは大きくて優しく、握手した時には童心に戻り心が舞い上がってしまいました。記念写真も撮ってきました。